

令和3年10月27日

保護者の皆様

藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

秋冷の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年5月27日(木)に3年生で実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせします。

1. 学力面について

①国語について

本校が、大阪府平均を上回った分類・区分は『学習指導領域等』の「読むこと」と、『評価の観点』の「読む能力」でした。ただし、どちらも全国平均は上回っていません。全国平均正答率より最も下回った分類・区分は『学習指導要領の領域等』の「話すこと・聞くこと」と、『評価の観点』の「話す・聞く能力」で、共に大阪府平均を4.4%下回りました。

問題形式別に見ると、本校が全国・大阪府平均を上回る問題形式はありませんでした。全国・大阪府平均より最も下回った問題形式は「記述式」で、全国平均を6.5%下回った。一方で全国・大阪府平均と最も差がなかった問題形式は「短答式」であり、大阪府平均から1.1%、全国平均から2.5%下回るにとどまりました。

この結果により「話すこと・聞くこと」「書くこと」に最も課題が見られました。また、自分の考えを持って意見を書いたり、根拠を明確にして書いたりすることが課題であるということがわかりました。

②数学について

本校が、平均正答率で大阪府を上回った問題は1問、全国を上回った問題はありませんでした。10%以上下回った問題も複数ありました。大阪府で正答率の平均が70%を超えた問題については、1問だけ下回りました。

分類・区分では、全て大阪府・全国平均を下回っています。特に、大きな差があったのは『学習指導領域等』の「数と式」と、『評価の観点』の「数学的な技能」でした。

問題形式においては、学力テストの問題の中には記述式や短答式で答える問題が多く、特にこれらの正答率が大阪府や全国と比べても低く、記述式問題での無解答率の高さから、記述することに課題があることもわかりました。

《学習面を通して》

すべての教科を通して、「話す・聞く力」「書く力」「伝える力」の定着に課題があります。朝学習では、落ち着いた雰囲気の中で、1年生で視写活動、2年生で朝読書、3年生で問題演習を実施しています。3年間継続して取り組むことで、文章を読み取る力や書く力等、基礎・基本的な問題を解く力の土台作りになると考えています。また、今後も「家庭学習のてびき」や宿題の工夫等により家庭学習の定着、学校図書館を活用して読書活動の機会の増加、またテスト前学習会や放課後ゆめ教室等により学習支援の充実を図り、基本的な学力の定着に向けて取り組んでいきます。

授業においては、自分の考えを正しく相手に伝える力をつけるため、ペア討議、グループ討議、発表の機会を多く取り入れるよう意識しています。すべての授業において、「すぐにあきらめることなくねばり強く課題について考え、人の考えをきちんと聞き、自分の考えを整理し、きちんと伝える」ということに重点をおいた授業をめざし、今後もさらに充実した教育活動を進めるよう取り組んでいきたいと考えています。また、学力向上に向けて、プロジェクターやタブレットPC等のICTの有効な活用も進めていきたいと考えています。

2. 生活面や学習状況について(生徒質問紙から)

①家庭生活に関わる項目

	本校	前回比	大阪府	全国
朝食を毎日食べていますか	82.6%	-5.4%	90.3%	92.8%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	72.9%	+3.4%	78.0%	82.5%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.9%	+4.3%	91.3%	92.7%
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	3H以上 45.1%		3H以上 43.5%	3H以上 32.3%

★ 朝食については学力との相関関係が指摘されており、きっちりと朝食を摂るなどの基本的な生活習慣を身につけることが重要です。また、規則正しい生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん)を作ることも大切です。特に、スマホ等の使用が睡眠時間に影響を与えると指摘されており、使用時間や使い方を管理することが重要です。

☆ 朝食を含めた朝の時間を大切に、笑顔で子どもを送り出してあげてください。また、スマホ等の使い方についてのルール設定や、基本的な生活習慣の確立において、各家庭でもご協力をよろしくお願いします。

②家庭学習に関わる項目

	本校	前回比	大阪府	全国
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	52.9%	+18.1%	60.5%	63.5%
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日どれくらいの時間、勉強をしますか	1H以上	1H以上	1H以上	1H以上
	67.1%	+6.7%	54.4%	62.5%
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	全く	全く	全く	全く
	8.4%	-4.6%	6.5%	3.5%
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか	10分以上	10分以上	10分以上	10分以上
	42.5%	+2.3%	40.6%	50.4%
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか	全く	全く	全く	全く
	38.7%	-2.6%	46.3%	37.4%

★ 家庭で1時間以上学習する、自分で計画を立てて勉強する割合が前回と比べて高くなっています。家庭学習が少しずつ定着してきているように思われます。しかし、約半数の人が、自分で計画を立てて学習していません。自分で計画を立て、毎日少しの時間でも家庭で机に向かうことはとても大切です。今日の授業を教科書やノートを開いて確認することや、明日の授業で学習するところを読んでおくだけでも効果があります。また、寝る時間や起きる時間を決めるように、毎日の生活の中で学習する時間を決めておくことも大切です。自分のための学習ができる力を身につけるよう、まずはそこから取り組みましょう。

★ 読書をする生徒は昨年より増加しており、また全く読書をしていない生徒は昨年に比べて減少しています。文を読み解く、心情を思いやることはとても大切です。何よりも、読んで理解する力はすべての教科に必要です。時間があれば、読書をする習慣をつけましょう。

☆ 家庭学習や読書などの習慣は、すぐに身につけることが難しいです。毎日の少しずつを積み重ねることが重要です。

③学校生活・自分に関わる項目

	本校	前回比	大阪府	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.8%	+1.7%	95.4%	95.9%
学校に行くのは楽しいと思いますか	72.9%	-5.3%	78.7%	81.1%
自分にはよいところがあると思いますか	59.4%	-9.7%	72.5%	76.2%
将来の夢や目標を持っていますか	59.4%	-7.5%	65.7%	68.6%

- ★ いじめはいけないと思っている生徒の割合は年々増加しています。あらゆる場面をとらえ、いじめを見逃すことなく、早期発見、早期解決に向けた取り組みが何よりも重要だと考えています。年間3回の教育相談、個人面談を最大限活用し、出てきた状況については全教職員で共有しています。日々の教育活動の中でも子どもの小さな変化を見のがさず、子どもの困り感などを受けとめるなど、迅速かつ適切な対応が行えるよう取り組んでいます。
- ★ 学校では、自己肯定感や自己有用感等、自分に自信をもてる子どもたちを育てるように取り組んでいます。様々な学習や体験等を通じて、充実・成功・感動・感謝等、たくさんの良い経験できるよう取り組み、生徒の良いところを見つけ、褒め、伸ばす教育を続けていきます。
- ★ 「夢や目標を持っている」については、前回より減少しています。将来の夢や目標を持つことにより、今、「何が必要か」、「何をすればよいのか」が明らかになり、全ての生活が前向きになると考えています。
- ☆ ご家庭でも、将来のことを語り合う等、子どもたちが夢や希望を持てる雰囲気作り、話し合う機会を作ってください。また、普段からお子様の様子に注意を払っていただき、少しでもお気づきの事、困っている事があれば遠慮なく学校にご相談ください。

④授業に関わる項目

	本校	前回比	大阪府	全国
1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか	70.4%	+5.2%	78.2%	81.0%
1、2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	40.0%	-6.2%	59.5%	62.0%
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	64.5%	-5.0%	73.1%	77.8%
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか	96.7%		95.5%	96.5%

- ★ 話し合う活動や発表する機会を大切にして授業をおこなっています。対話的な活動は少しずつ定着してきており、主体的に取り組む子どもたちが増えていきます。今後、さらに深い学びにつなげ、本校のめざす「ねばり強く考え、記述・発表できる力」をつけるよう、工夫した授業づくりを進めたいと考えています。
- ★ 昨年度3学期より「一人一台タブレット」が導入され、授業等での活用を進めています。ICTをうまく活用した授業はとても効果があると考えており、大型スクリーン・プロジェクター等も含めたICTを活用した授業の充実をめざします。
- ☆ 学校では、授業などいろいろな場面で話し合う活動、自分の意見を発表する活動を取り入れています。ご家庭でもたくさんの会話ができるような機会を作ってください。

3.最後に

全国学力・学習状況調査は毎回中学3年生を対象とし、同じ子どもたちの経年変化を現すものではないため、単純に前回の結果との比較はできません。また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないため、生徒の身につけるべき学力の一部分の結果であることに留意する必要があります。ただし、その結果は、本校の取り組みを検証し、取り組み等の改善を図る一つの目安となると考えています。

学力調査の結果では平均正答率は全国・府に比べて低く、前回と同じ結果でした。ただし、学力向上に向けた取り組みの成果が現れている部分もあり、今後も課題解決に向けて、ICTの活用、考えをまとめ書くこと、話し合い活動、発表する場を積極的に取り入れるなど、「主体的・対話的で深い学び」へとつなげる取り組みを進めていきたいと思ひます。

一方で、子どもたちの学力向上・健やかな成長には、基本的な生活習慣の確立、家庭学習の定着は欠かせません。また、学力に大きな影響を与えていると言われているスマホ等の取り扱い、とても重要です。学校でも、ネットの危険を学ぶ講習会等の学習を取り入れています。トラブルは後を絶ちません。ご家庭でも、スマホやオンラインゲーム等の管理やルールについて、もう一度話し合っただき、子どもたちがそれらと上手に付き合っていくようご協力をお願いします。

学校と家庭が連携を図り、子どもたちと向き合い、「わかりやすく伝える・子どもの思いを聞く(子どもが話せる環境づくり)」ことが何よりも大切です。子どもたちの健やかな成長のためにも、学校・家庭・地域が手を携え取り組んでいきたいと思ひます。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。